

営農計画作成ツール 使用説明書

目 次

I. 経営指標の作成

- 1. 経営データの収集 . . . p 4
- 2. 「設定_指標」シート . . . p 4

II. 営農計画の作成

- 1. 「設定_ライフプラン」シート . . . p 10
- 2. 「設定_品目」シート . . . p 11
- 3. 「設定_固定資産」シート . . . p 13
- 4. 「設定_土地」シート . . . p 15
- 5. 「設定_修繕費・販管費・収量に連動する賃借料」シート . . . p 16
- 6. 「設定_労働力」シート . . . p 18
- 7. 「設定_資金」シート . . . p 19
- 8. 「設定_単発の諸材料費」シート . . . p 20
- 9. 「様式1_資金調達」シート . . . p 21
- 10. 「様式1～6」シート . . . p 22
- 11. 「単年度_結果」シート . . . p 23

営農計画作成ツール 使用説明書

入力項目の具体例と入力箇所

入力項目		定義	具体例	入力箇所 (シート名)	
作付概要	作目	栽培する品目	水稲、イチゴ、ブドウ 等		
	作型	作目の栽培方法・時期	促成、抑制、夏秋、6/上移植		
	品種	特定の能力や特徴が遺伝的に固定化された農産物	コシヒカリ、かおりの 等		
生産費用	種苗費	種子代、苗代 等	種籾、硬化苗 等	「設定_指標1～15」シート	
	肥料費	肥料・土壌改良資材・堆肥等の購入費用 等	ミネラルGF、セラコート 等		
	農薬衛生費	農薬代、共同防除経費 等	トレボン乳剤、カスミンボルドー 等		
	光熱動力費	農機具・農業自動車・農業施設に使用する軽油・ガソリン・オイル・暖房用重油・灯油等の燃料費、農業に使用する水道料・電気料 等			
	諸材料費	農業生産に直接必要な資材・農具費 等	支柱、マルチ、ポット、育苗培土 等	数年に1回交換するハウスビニール 経営初年度や規模拡大時のみ購入する コンテナ 等	「毎年発生しない経費を、 経費が発生する年に計上 したい場合は「設定_ 単発の諸材料費」シート
	賃借料	機械や施設の使用料 〔 レンタル料、利用料、 リース代 等 〕	(収量に応じて変動しない賃借料) 農機具のレンタル料、ハウスのリース代等	「設定_指標1～15」シート	
			(収量に応じて変動する賃借料) ライスセンター利用料 等	「設定_修繕費・販管費・収量に 連動する賃借料」シート	
	土地改良 水利費	暗渠設置やほ場法面の修復代 等	-	「設定_指標1～15」シート	
	建物施設 修理費	ハウスや作業小屋等の修理費	建物施設の状態や経過年数にもよるが、 取得価額の1%程度	「設定_修繕費・販管費・収量に 連動する賃借料」シート	
農機具 修理費	トラクターや動噴等の修理費	農機具の状態や経過年数にもよるが、 取得価額の4～5%程度	「設定_修繕費・販管費・収量に 連動する賃借料」シート		
雇用労賃	パート・アルバイトの人件費	-	「設定_労働力」シート		
減価償却費	減価償却資産の取得価額を法定耐用年数で分割して費用に計上したもの		「設定_固定資産」シート		
販売費用	包装資材費	商品の発送・保管に使用する 包装材料費	段ボール、出荷袋、結束テープ 等	「設定_修繕費・販管費・収量に 連動する賃借料」シート	
	運賃	出荷にかかる運送経費	-		
	手数料	JAや市場、直売所等の出荷手数料	出荷手数料は出荷先によって異なるため、主 な出荷先に確認してください		
管理費用	支払利子	借入資金にかかる利子	-	「設定_資金」シート	
	地代	借りている農地の借地代	-	「設定_土地」シート	
	保険料・ 共済掛金	農業に関する共済保険等の 保険料・掛金のうち、特定の 品目の経営面積によって 保険料がきまるもの	水稲共済の掛金 等	「設定_指標1～15」シート	
		農業に関する共済保険等の 保険料・掛金のうち、 上記以外のもの	農業用資産に対する火災保険・車両保険、 園芸施設共済の掛金、収入保険の保険料等		
	農作業 衣料費	農作業に必要な衣料購入に かかる費用	作業着、長靴、足袋、帽子、合羽、手袋、 ゴーグル 等の購入費用	「設定_修繕費・販管費・収量に 連動する賃借料」シート	
	事務費	農業経営の事務作業に必要な経費	通信費、文具・事務用品の購入費用 等		
	研修費	農業経営に関する研修受講に 必要な経費	セミナー参加費 等		
農業用 租税公課	農業経営に関する税金	農業用建物・農地等の固定資産税、 農業車両の自動車税、消費税、事業税 等			
労働時間	作業者が農作業に従事する時間	-	「設定_指標1～15」シート		

I. 経営指標の作成

1. 経営データの収集

支援機関等から、作付品目に関する経営データを収集する。

(経営指標、資材単価、施設機械取得費等)

2. 「設定_指標」シート

(1) 「作付概要」「営農計画1年目」

「作目」、「作型」、「品種」を入力する。
※ なるべく簡潔に入力した方がよい。
(文字数が多いと、営農計画がみづらくなる)

作付概要 (不要な項目は記載省略可能)

項目		記載例
作目		水稻
作型		稚苗移植、6/上
品種		コシヒカリ

営農計画1年目

西暦	2026	年	4	月
----	------	---	---	---

作成する営農計画の1年目を設定する。

※ 「営農計画1年目」を入力するのは、「設定_指標1」シートのみ

(2) 「経営費 (円/10a あたり)」

経営費 (円/10aあたり)								
科目	名称	数量	単位	単価	負担率	負担数量	金額	備考
種苗費								
肥料費								
農業衛生費								
光熱動力費	カソリン		リットル				0	
	軽油		リットル				0	
	灯油		リットル				0	
	電気料						0	
	水道						0	
	灯油						0	
	重油						0	
	オイル						0	
	その他材料費							
	計						0	
その他の諸材料費								
賃借料								
	土地改良水利費							
	保険料・共済掛金							

10a あたりの「種苗費」、「肥料費」、「農業衛生費」、「光熱動力費」、「その他の諸材料費」、「賃借料料金」、「土地改良水利費」、「保険料・共済掛金（当該品目の経営面積により保険料がきまるもの）」を入力する。
 ※ 「単価」は、「1 単位あたり」の単価を入力する。
 (例) 「100L、500 円」の農薬を 10L 使用する場合
 ⇒ 数量「10」、単位「L」、単価「5」(500 円/100L=5 円/L)

入力セルが不足する場合は、「+」ボタンをクリックすると入力セルが増える。

「負担率」
 支援機関等から入手した経営指標から入力する場合は、「100%」を入力する。

「その他の諸材料費」は、「使用年数」を入力する。
 (例) マルチ「1」、マルチストッパー「3」

「賃借料」の内、収量に応じて変動するもの（ライスセンター利用料等）は、「設定_修繕費・販管費・収量に連動する賃借料」シートに入力する。

当該品目の経営面積によって保険料が決まるものについて「10a あたりの保険料」を入力する。
 それ以外の保険料については「設定_修繕費・販管費・収量に連動する賃借料」シートに入力する

(3) 「労働時間（時間/10aあたり）」

労働時間（時間/10aあたり）

作業名	1月			2月			3月			4月			上旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
本圃管理	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	5.3	1.3
着果管理	26	22	0	14	19	14	9.6	24	14	14	19	14	0
病害虫防除	2	2	2	2	2	2	2.4	2	2.4	2.4	2	2.4	2.4
収穫	19	19	19	17	17	17	22	22	22	22	22	22	14
調製	30	30	30	25	25	25	34	34	34	34	34	34	21
出荷	3.4	3.4	3.4	2.9	2.9	2.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	2.4

「作業内容」と「月旬別・作業内容別・10aあたり労働時間」を入力する。

労働時間（時間/10aあたり）

作業名	1月			2月			3月			4月			上旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
合計	82	78	56	62	67	63	74	87	79	78	82	83	4

作業内容別の内訳が不要な場合は、合計の労働時間を入力する。

営農計画作成ツール 使用説明書

(参考) 16以上の指標を作成したい場合

以下の手順で16以上の指標を作成できます。

- ① 指標1～15のうち、任意の指標をコピーする。
- ② コピーした経営指標を、「指標」シートの空欄行に「値のみ貼り付け」する。
- ③ 列Bに任意の数字を入力する。(他の経営指標と同じ数字は用いない)
- ④ コピー元の指標を作成した「設定_指標」シートで、別の指標を作成する。

No.	地域	作目	作型	調査規模	品種
107	中間～山間	夏秋トマト	低段密植年2作、植付5000本		麗夏等
108	沿岸部～中間	冬春トマト	高糖度隔離床栽培ゆめ果菜恵、植付3100本		マイロック等
109	県全域	放牧牛肉	春から秋の耕作放棄地経産牛放牧、飼養頭数0.2頭		黒毛和種
110	県全域		耕作放棄地親子放牧、飼養頭数0.1頭		黒毛和種
111	瀬戸内		中小型早出し技術、植付本数1400本		モウソウチク
0		0	0	0	0
1	〇〇市	水稻	稚苗移植		コシヒカリ
2	〇〇市	水稻	稚苗移植		ひとめぼれ
3	〇〇市	水稻	稚苗移植		ヒノヒカリ
4	〇〇市	水稻	稚苗移植		きぬむすめ
5	〇〇市	水稻	稚苗移植		恋の予感
6	〇〇市	水稻	稚苗移植		にじのきらめき
7	〇〇市	水稻	乾田直播		にじのきらめき
8	〇〇市	水稻	再生二期作		にじのきらめき
9	〇〇市	水稻	稚苗移植		山田錦
10	〇〇市	水稻	稚苗移植		飼料用米
11	〇〇市	小麦	畦立条播		せときらら
12	〇〇市	小麦	畦立条播		にしのやわら
13	〇〇市	小麦	畦立条播		ふくさやか
14	〇〇市	大豆			サチユタカ
15	〇〇市	大豆			シュウレイ

①任意の経営指標をコピーする。

営農計画作成ツール 使用説明書

The screenshot shows a spreadsheet application window titled '営農計画作成用_ver4_06.xlsx'. The 'Paste' menu is open, and the '値のみ貼り付け' (Paste Values Only) option is selected. The spreadsheet data includes columns for '作目' (Crop Type), '作型' (Cultivation Type), '調査規模' (Survey Scale), and '品種' (Variety). Rows 12-15 are highlighted in grey, and rows 16-29 are numbered 1-15. A '指標' (Indicator) sheet is visible at the bottom, with tabs for '設定_指標11' through '設定_指標15' and '指標'. A red box highlights the '指標' tab, and an arrow points to it from a text box below.

	D	E	F	G
1	入力してください。 (経営指標と同じ数字は用いないでください。)		5	6
2	作目	作型	調査規模	品種
12	110 県全域	耕作放棄地親子放牧、飼養頭数0.1頭		黒毛和種
13	111 瀬戸内	中小型早出し技術、植付本数1400本		モウソウチク
14	0	0	0	0
15	1 〇〇市	水稲 稚苗移植		コシヒカリ
16	2 〇〇市	水稲 稚苗移植		ひとめぼれ
17	3 〇〇市	水稲 稚苗移植		ヒノヒカリ
18	4 〇〇市	水稲 稚苗移植		きぬむすめ
19	5 〇〇市	水稲 稚苗移植		恋の予感
20	6 〇〇市	水稲 稚苗移植		にじのきらめき
21	7 〇〇市	水稲 乾田直播		にじのきらめき
22	8 〇〇市	水稲 再生二期作		にじのきらめき
23	9 〇〇市	水稲 稚苗移植		山田錦
24	10 〇〇市	水稲 稚苗移植		飼料用米
25	11 〇〇市	小麦 畦立条播		せときらら
26	12 〇〇市	小麦 畦立条播		にしのやわら
27	13 〇〇市	小麦 畦立条播		ふくさやか
28	14 〇〇市	大豆		サチユタカ
29	15 〇〇市	大豆		シュウレイ

②コピーした経営指標を
「指標」シートの空欄行に
「値のみ貼り付け」する。

営農計画作成ツール 使用説明書

任意の数字を入力してください。
(ただし、他の経営指標と同じ数字は用いないください。)

灰色の列 (収量、単価、粗収益、荷造運賃手数料、その他費用等) の項目につ

No.	地域	作目	作型	調査規模	品種
110	県全域	耕作放棄地親子放牧、飼養頭数0.1頭			黒毛和種
111	瀬戸内	中小型早出し技術、植付本数1400本			モウソウチク
0		0	0	0	0
1	〇〇市	水稻	稚苗移植		コシヒカリ
2	〇〇市	水稻	稚苗移植		ひとめぼれ
3	〇〇市	水稻	稚苗移植		ヒノヒカリ
4	〇〇市	水稻	稚苗移植		きぬむすめ
5	〇〇市	水稻	稚苗移植		恋の予感
6	〇〇市	水稻	稚苗移植		にじのきらめき
7	〇〇市	水稻	乾田直播		にじのきらめき
8	〇〇市	水稻	再生二期作		にじのきらめき
9	〇〇市	水稻	稚苗移植		山田錦
10	〇〇市	水稻	稚苗移植		飼料用米
11	〇〇市	小麦	畦立条播		せときらら
12	〇〇市	小麦	畦立条播		にしのやわら
13	〇〇市	小麦	畦立条播		ふくさやか
14	〇〇市	大豆			サチユタカ
15	〇〇市	大豆			シュウレイ
16	〇〇市	大豆			シュウレイ

③列 B に任意の数字を入力する。
(他の経営指標と同じ数字は用いない)

④コピー元の指標を作成した「設定_指標」シート (上記の場合は「設定_指標 15」シート) で、別の指標を作成する。

2. 「設定_品目」シート

「指標」シートの列 B の No を入力する。

各品目・作型の「面積」、「単収」、「販路」、「(各販路の) 単価」、「(各販路の) 出荷割合」、「交付金」を設定する。

年	指標No	経営品目 (品種・作型)	面積 (a)	単収 (kg/10a)	販路	単価 (円/kg)	出荷割合 (%)	交付金 (円/10a)	収入 計	労働係数 (%)	生産開始月
2026	1	水稲 (コシヒカリ, 5/上)	100	480	共販・青果用	200	80				
					共販・加工用	100	10	7,500	967,500	120	3月
					直売	300	10				
	106	イチゴ (子苗直接定植, 穂付7000本, かおり野)	10	4,000	共販	1,000	85				
					直売所	1,200	15		4,120,000	120	7月
									0		
									0		

指標の労働時間を「〇%増 (減)」したい場合に入力する。
入力しなければ、指標通りの労働時間で営農計画が作成できる。

(例)

- ・ 指標の 2 割増の労働時間を計上する場合：120
- ・ 指標の 2 割減の労働時間を計上する場合：80

(活用例)

- ・ 就農当初は作業速度が遅いため、指標の 2 割増の労働時間を計上する。
- ・ 新植果樹の育成期間は、指標の 8 割の労働時間を計上する。

1 年目のみ、生産開始月を設定できる。
作業を開始する月を入力すると、それ以前の労働時間は計上されない。
入力しなければ、1~12 月の指標通りの労働時間が計上される。

(例) 2026 年就農、小麦 (2026 年 10 月~作業開始) の場合

- ・ 生産開始月に「10 月」を入力
⇒ 2026 年 1~9 月の労働時間は計上されない
- ・ 生産開始月「空欄」
⇒ 2026 年 1 月から労働時間が計上される

営農計画作成ツール 使用説明書

【品目構成】

列BのNoを入力する

年	指標No	経営品目 (品種・作型)	面積 (a)	単収 (kg/10a)	販路	単価 (円/kg)	出荷
2026	1	水稲 (コシヒカリ、5/上)	100	480	共販・青果用	200	
					共販・加工用	100	
					直売	300	
2025	15	ブドウ (2030成園、)	30				
育成							

○果樹を新植する場合

- ・〇〇年に栽培する未成園の面積は、「〇〇 (年) 育成」の欄に「指標 No」「面積」を入力する。

営農計画作成ツール 使用説明書

「大植物」の情報を入力する。
 ※ 行の挿入は行わない。

大植物が成熟の樹齢に達した年月を入力する。
 (減価償却費を計算するうえでの取得年月)

- ・大植物を購入した金額
- ・取得するまでにかかる経費

【大植物】	取得年月			取得価額	大植物の 購入費用を 支払った年	耐用年数 (年)			使用割合 (%)					
						法定 耐用 年数	経過 年数	耐用 年数	ゆずきち (.)					
苗木	西曆	2030	年 1月	1,000,000	2027	28	0	28	100					
経費 (1年目)	西曆	2030	年 1月	200,000	2027	28	0	28	100					
経費 (2年目)	西曆	2030	年 1月	500,000	2028	28	0	28	100					
経費 (3年目)	西曆	2030	年 1月	800,000	2029	28	0	28	100					
	西曆		年 月											
	西曆		年 月											
	西曆		年 月											

それぞれの大植物について、
各品目で使用する割合を入力する。

○果樹を新植する場合

- ・「苗代」と「成園になるまでにかかる経費」を入力する。
- ・成園になるまでにかかる経費については、実際に支払う年を「大植物の購入費用を支払った年」に入力する。

※ 成園になるまでにかかる経費については、2 (2) 指標「経営費」には入力しない。

4. 「設定_土地」シート

「借地面積」、「借地料」を入力する。

【土地】

年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
借地	借地面積 (a)	20	20	30	30	30	50
	借地料 (円/10a)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

購入した年		就農前から所有	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
所有地	購入面積 (a)	30						20
	購入費用 (円)							1,000,000

年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
作付面積計 (a)		50	50	60	60	60	100
調達した農地 (a)		50	50	60	60	60	100

就農前から所有している農地（親の所有地等）を入力する。

購入（予定）農地の面積・購入費用を入力する。

5. 「設定_修繕費・販管費・収量に連動する賃借料」シート

(1) 修繕費

ハウスや作業小屋等の修理費を入力する。
建物施設の状態や経過年数にもよるが、取得価額の1%程度。
経過年数が長い場合は高めに設定する。

修繕費を「取得価額の〇%」で計上したい場合

修繕費	建物施設修理費	建物施設取得費の	1.0	%/年
	農機具修理費	農機具取得費の	4.0	%/年

トラクターや動噴等の修理費を入力する。
農機具の状態や経過年数にもよるが、取得価額の4~5%程度。
経過年数が長い場合は高めに設定する。

修繕費を固定額で計上したい場合や、
リースのため固定資産の取得価額が計上されない場合等は、
「修繕費を固定額で計上したい場合」に修繕費見込額を計上する。

※ 「取得価額の〇%での計上」と「固定額での計上」は併用可能

修繕費を固定額で計上したい場合 (円/経営全体・年)

	2026年	2027年	2028年	2
建物施設修理費	100,000	100,000	100,000	
農機具修理費				

(2) 管理費用

管理費用	保険料・共済掛金			円/経営全体・年
	農作業衣料費			円/経営全体・年
	事務費			円/経営全体・年
	研修費			円/経営全体・年
	農業用租税公課			円/経営全体・年

管理費用を入力する。

「保険料・共済掛金」のうち、特定の品目の経営面積によって保険料がきまるものについては、「設定_指標」シートの「保険料・共済掛金」に入力する。

(3) 販売費用、(収量に連動する) 賃借料

経営品目・販路別に販売費用を入力する。

販売費用	経営品目 (品種・作型)		イチゴ (子苗直接定植、植付7000本、かおり野)		
	販路		共販	加工用	直売
包装資材費	各販売量に対し	円/kg		円/kg	円/kg
運賃	各販売量に対し	円/kg		円/kg	円/kg
手数料	売上の	%		%	%
賃借料 (収量に連動する経費)	各販売量に対し	円/kg		円/kg	円/kg
	各販売量に対し	円/kg		円/kg	円/kg
	各販売量に対し	円/kg		円/kg	円/kg

機械や施設の使用料

(例) ライスセンター利用料 等

※ 収量に応じて変動しない賃借料 (ハウスのリース料等) は、「設定_指標 1~15」シートに入力する。

6. 「設定_労働力」シート

各人の月旬別労働時間を入力する。

(例)

本人：8時間×10日＝80時間/旬

年	属性	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計	人件費	
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	時給(円/h)	総額(円)				
2025	記載例	32	40	48	48	56	56	64	64	64	64	64	64	72	72	64	64	56	56	56	56	56	56	40	56	64	72	72	64	56	56	56	48	40	40	40	32	2,000	1,100	2,200,000
	家族																																							
	その他家族																																							
	雇用1																																							
	雇用2																																							
雇用3																																								
雇用4																																								
確保可能な労働時間の合計：hr		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
必要となる労働時間の合計：hr		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特殊な事情がない限り、雇用労働力の労働時間は、雇用期間中は同じ時間を入力する。

〔「6/上は20時間、6/中は40時間」
という雇い方は現実的ではない。〕

雇用を導入する場合は、時給を入力する。最低賃金が上昇することをふまえ、現行の最低賃金より高い時給単価を設定する。社会保険に加入する場合は、事業主負担分も計上する。

すべての期間において
「確保可能な労働時間の合計」>「必要となる労働時間の合計」
となるようにする。

※ 作成のポイント

- ・急な来客対応や個人的なイベント等で、「確保可能な労働時間」がすべて農作業に使えるとは限りません。労働力は余裕を持たせた計画にしましょう。
- ・「必要となる労働時間」は、基本的に「8時間/人・日」、「概ね2,000時間/人・年」以内の範囲に収まるよう調整してください。

7. 「設定_資金」シート

借入金のデータを入力すると、「様式 2_借入金償還元利表」が作成できる。
 農業制度資金等を活用する場合は、制度に合致した条件を設定する。

【借入金】

その場合は、経営高度化研究室までご相談ください。

資金名	借入額 (円)	使途目的	借入年月 (西暦/月/1)	据置期間 (年)	償還期間 (年)	利率 (%)	(
記載例	1,000,000	施設整備	2024/10/1	3	15	0.0%	2

【自己資金】

資金名	金額 (円)
記載例	1,000,000
自己資金	

営農計画 1 年目時点での自己資金を入力する。

8. 「設定_単発の諸材料費」シート

このシートは、諸材料費のうち毎年発生しない経費について、実際に支払う年に経費を計上したい場合に使用する。

(例)

- ・ 3～5年に1回交換するハウスビニール交換費用
- ・ 経営初年度や規模拡大時に大量に購入するが、それ以後は購入しないコンテナ 等

※注意点

すでに他の項目で計上した費用は入力しない（二重計上になる）。

(例)

- ・ ハウスビニール交換費用を修繕費に計上している。
- ・ 複数年使用する資材を使用年数で按分して、指標に計上している。

(例) 3年に1回交換するハウスビニール交換費用を計上。

【指標に含まれない単発の諸材料費】

品目		2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
イチゴ	金額			500,000		300,000	500,000	
	用途			ビニール交換		コンテナ	ビニール交換	
	金額							
	用途							
	金額							
	用途							
	金額							
	用途							

(例) 規模拡大に伴い購入するコンテナ代を計上。

※ 注意点

他の項目で計上した費用は入力しない。

営農計画作成ツール 使用説明書

9. 「様式1_資金調達」シート

資金調達計画

No.	項 目	2025年	2026年	2027年
1	粗収益	0	0	
2	経営費(減価償却費を含む)			
3	収 農業所得 1-2	0	0	
4	農外所得			
5	益 農家所得 3+4			
6	家計費			
7	等			
8	租税公課			
9	農家経済余剰 5-6-8	0	0	
10				

農外所得を入力する。

(農業用租税公課をのぞく) 租税公課を入力する。
ただし、「家計費」に計上している場合は入力不要。

営農計画作成ツール 使用説明書

10. 「様式1～6」シート

2～9を入力すると、「様式1～6」が作成できる。

「営農計画作成チェックリスト」を参考に、計画の確認・修正を行う。

営農計画作成チェックリスト

シート名		チェック項目
設定_指標1～15		<input type="checkbox"/> 「10aあたり」の数値が入力されているか
		<input type="checkbox"/> 「土地改良水利費」を忘れていないか (土地改良水利費が必要な品目の場合のみ)
設定_ライフプラン		<input type="checkbox"/> 「支出」は「年額」を入力しているか
		<input type="checkbox"/> 自動車を所有している場合、車購入費や車検代金を計上しているか
設定_品目		<input type="checkbox"/> 現実的な「単収」「単価」となっているか
		<input type="checkbox"/> (未収益期間がある品目の場合) 未収益期間に「単収」を計上していないか
		<input type="checkbox"/> 果樹等の未成園は、「〇〇育成」欄に面積を計上しているか
設定_固定資産		<input type="checkbox"/> 営農に必要な固定資産はすべて入力しているか (償却済資産を含む)
		<input type="checkbox"/> 更新予定の固定資産は「実際の更新予定年」を入力する
		<input type="checkbox"/> ハウスを整備する場合、「整地費用」、「電気・水道工事費」、「排水管整備費用」等を計上しているか
		<input type="checkbox"/> 各品目における「使用割合」の合計が100%になっているか
		<input type="checkbox"/> 果樹等の未成園にかかる経費(苗代、農薬費等)を計上しているか
設定_土地		<input type="checkbox"/> 営農に必要な面積が確保できているか
設定_修繕費・ 販売費・ 収量に連動 する賃借料	修繕費	<input type="checkbox"/> 修繕費は適切か (固定資産の経過年数・状態にもよるが、 建物施設修理費1%、農機具修理費4～5%程度)
	管理費	<input type="checkbox"/> 管理費用を入力しているか
	販売費	<input type="checkbox"/> 販売費用と販路は整合性がとれているか
設定_労働力	共通	<input type="checkbox"/> 年間労働時間は「概ね2,000時間/人」以内となっているか
		<input type="checkbox"/> 旬あたり労働時間は「概ね80時間/人」以内となっているか ((8時間/日) × (10日/旬) = (80時間/旬))
	家族	<input type="checkbox"/> 家族労働力は、実際に農業に従事できる状況か(高齢、出産、育児等)
	雇用	<input type="checkbox"/> 雇用する場合、雇う人の目途が立っているか (特に、周年雇用以外の雇用形態の場合)
		<input type="checkbox"/> 雇用する場合、「旬あたり労働時間」は概ね一定となっているか
		<input type="checkbox"/> 雇用する場合、「人件費(時給単価)」を入力しているか
		<input type="checkbox"/> 「人件費(時給単価)」は、最低賃金以上となっているか (将来の最低賃金上昇を見越した水準となっているか)
	<input type="checkbox"/> 人を雇用する場合、休憩所等は確保しているか	
設定_資金		<input type="checkbox"/> 「借入額」「用途目的」「据置期間」「償還期間」「利率」は 制度資金の条件に合致しているか
単発の諸材料費		<input type="checkbox"/> 他の項目ですでに計上している費用を入力していないか
様式1_資金調達		<input type="checkbox"/> 「40 差引残高」がマイナスになっていないか
様式3_労働時間・配分		<input type="checkbox"/> 「必要となる労働時間の合計」が「確保可能な労働時間の合計」を 超える時期はないか
様式6_構造分析表		<input type="checkbox"/> 「農業所得」が目標額を超えているか

